

石川県滝港マリーナの平成24年度管理状況

施設所管課	土木部港湾課
指定管理者	有限会社プロジェクトドゥ 代表取締役 中田 隆夫
指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 従事員全員に対し、気象・海象状況の把握を徹底 ・ 出港者へ気象・海気状況を案内 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者アンケートの実施（延8通） ・ ホームページ及びFacebook ページで意見等の受付 ・ 利用者ニーズの反映（無料ドリンクの提供など） <p>その他特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クレーンのチケット制の導入（新） ・ 利用者への釣り餌、氷の提供及び高圧洗浄機の貸出（新） ・ 管理棟で無料ドリンク（コーヒー等）の提供（新） ・ 利用者閲覧用PCの設置及びインターネット回線の高速化（新） ・ 艇庫内に女性用更衣室の設置（新） ・ 夏期における利用時間の延長 ・ 早朝出航の際の棧橋係留許可
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヨット大会の開催 ・ ボート免許更新講習会の実施（新） <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ及びFacebook ページを開設（新） <p>周辺地域、関係機関との連携・協力の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沿岸、海難事故等に関する救助活動等 地元ボランティア救難所員（羽咋滝港マリーナ救難所） 石川県漁業協同組合羽咋支所、柴垣支所 金沢海上保安部 警備救難課 羽咋郡市広域圏消防本部 羽咋警察署
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用許可の件数（（2）②参照） ・ 使用料の収入実績（（3）参照）
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園トイレの清掃を委託 <p>保守点検</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン、浄化槽の法定点検 ・クレーン、浄化槽、フォークリフトの自主点検 警備 <ul style="list-style-type: none"> ・管理棟・艇庫の夜間警備を業者に委託 ・盗難防止のため、防犯カメラ4台設置（新） 小規模修繕 実施内容を簡潔に記載 <ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトのエンジンやリフト部分の不調修理
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 <ul style="list-style-type: none"> ・（公社）日本水難救済会が発行する「海難救助マニュアル」に基づいて安全対策や緊急時の対応などを職員に周知徹底 ・利用者に対し「滝港マリーナ利用者心得」を配布 ・各種関係団体との緊急連絡網の確立 ・石川県原子力防災訓練（6月9日）への協力 個人情報の管理状況 <ul style="list-style-type: none"> ・独自でプライバシーポリシーを作成し、職員に対し指導

（２）施設の利用状況

①利用指標

指標	H 2 3 年度 (参考)	H 2 4 年度	前年度比	増減理由
施設利用者数(人)	15,104	13,703	91%	11月以降荒天日が多かったため
施設稼働率(%)	98%	98%	100%	

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
ボート艇置場	128	0	
ヨット艇置場	113	0	
艇庫	41	0	
棧橋	4	0	
会議室	8	0	
クレーン	720	0	
合計	1,014	0	

（３）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

(円)

	収入額	減免額	減免理由
ボート艇置場	10,983,330	0	
ヨット艇置場	83,000	39,880	教育的観点により
艇庫	90,100	3,102,000	教育的観点により
棧橋	20,300	12,810	防災の観点により
会議室	24,060	0	
給水・シャワー	122,600	0	
クレーン	1,862,700	0	

その他(電気・水道等)	331,531	0	
合計	13,517,621	3,154,690	

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
利用料収入	13,517	人件費	5,269
自主事業収入	20	光熱水費	1,363
雑収入	355	修繕費	260
クレーンケット前受金	148	その他	4,452
		県納付金	2,120
合計	14,040	合計	13,464
収支差額	576		

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

① 利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果(平成24年5月・6月実施 有効回答数8件)

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	50%	50%	0%	0%
施設の維持管理	66.7%	33.3%	0%	0%

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成24年5月	フェンスを修理してほしい。	県へ対応を依頼
平成24年5月	マリーナでのイベントをして若年層の関心を促してほしい。	次年度検討
平成24年6月	オープンカフェ等があればもっと利用が増えると思う。	飲み物等無料サービスを実施

② 事故、故障等

年月	内容	対応
平成24年8月	漁船が棧橋、クレーン支柱に接触	漁船側加入の保険により修復

③ その他報告事項など

--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーンのチケット制の導入、釣り餌や氷の提供、利用者閲覧用PCの設置など、新たな取組みにより利便性の向上を図っている。 ・利用者アンケート調査を行い、無料でドリンクの提供を開始するなど、利用者の声を運営に活かすことでサービスの質を向上させている。 ・ホームページやFacebookを活用しイベント等の情報を発信することにより、広い年齢層を対象とした広報活動を行っている。 ・ボート免許更新講習会を開催することにより、多くのボート免許取得者が滝港マリーナと関わるきっかけを作った。 ・引き続き、利用者の多い時期（夏期）に営業時間の延長を実施し、サービスの向上、利用促進に努めた。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーン・フォークリフト等の点検整備、公衆トイレ等の清掃委託により、適切な維持管理が行われている。 ・管理棟及び艇庫の夜間における警備委託や、盗難防止のために防犯カメラ4台を設置するなど、24時間体制で監視を行っている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理者など、必要な職員の配置がなされており、適切な管理体制が構築されている。 ・業務に関する研修・講習が十分なされている。 ・救難所との連携維持に努めた。 ・「滝港マリーナ利用者心得」を作成・配布することにより職員だけでなく利用者の意識向上も図っている。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的にあった管理運営がなされており、さらに、利用者の声を運営に活かすなど、利用促進・利便性向上に積極的に取り組んでいる。今後も新たな自主事業の展開や既存事業の拡大などにより、さらなる利用促進・利便性向上が期待できる。

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

--